

第4号

2009年
3月30日

梅花女子大学 児童文学・絵本センター報



編集・発行 梅花女子大学児童文学・絵本センター

〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5

<http://www.baika.ac.jp/~ehoncenter/index.html>

事務局 田中裕之研究室 tel 072-643-6221 fax 072-643-7997 e-mail: tanakah@baika.ac.jp

絵本と出会うこと

センター運営委員 香曾我部秀幸

私たちが絵本に親しむ期間は、一生に三度訪れます。最初は、赤ちゃんから子どもの時代で、私たちは初めて絵本と出会います。その後、大半の人はいったん絵本から離れてしましますが、中にはずっと絵本が大好きで、中学・高校・大学と読み続ける人もいます。世間からは変り者扱いされますが、本当はすばらしいナイーブな感覚の持ち主で、本学の児童文学科には、そんな学生がたくさん集まっています。二度目は、子どもを生んで育てる時代で、私たちは、わが子と共に絵本を読み語り、真剣に絵本と向き合います。そして三度目は、子どもが独り立ちする頃。子育てから解放され、それまでの絵本体験に基づいて、自由な立場で自分自身が絵本を愉しむことができます。こう考えてくると、私たちは一生のうち、実に半分以上の間、絵本に親しんでいることに気づきます。絵本とは、いつも身近にあって、子どもからおとなまであらゆる世代の生活の一部として楽しめる大切な文化と言えるでしょう。子ども時代にたっぷりと絵本や物語の世界に浸り、深く豊かな想像力を育まれた人は、長じても瑞々しい感覚を保ち、その心の生活は潤いあるものになるに違いありません。子どもの時に出会った1冊を一生持ち続けられる人はとりわけ幸せです。

「児童文学・絵本センター」は、そんな子どもの本を通して、様々な人たちが交流する場の実現を目指しています。設立4年目を迎え、まだまだ道半ばですが、学生、卒業生、教員みな手を携えて、理想の旗を掲げて参る覚悟です。より多くの方々のご参加・ご協力を期待しております。

速報

卒業生の出版物続々！

小原和乃さん（2001年度卒業生・英国在住）が2008年10月イギリスで出版した絵本『The Haunted House』が、アメリカ The New York Times の Ten Best Illustrated Children's Books of 2008 に選ばれました。このほかにも、児童文学科卒業生の作品が次々と出版されています。

詳しくは

<http://www.baika.ac.jp/~ehoncenter/publication.htm> をご覧ください。



アメリカ版は
「Ghosts in the House !」
というタイトルです。

2008 年度 活動報告

<年間行事一覧>

- ・ 4月22日(火)「おはなし会」(茨木市子育てサークル「森の広場」)
- ・ 5月20日(火)「おはなし会」(茨木市立豊川小学校 1,2年 各1クラス)
「おはなし会」(「森の広場」)
- ・ 5月21日(水)「おはなし会」(茨木市立水尾小学校 1年3クラス)
- ・ 6月6日(金)
梅花子どもの本フェスタ'08 第1日
「絵本制作展」(豊中市千里文化センター「コラボ」)
- ・ 6月7日(土)
梅花子どもの本フェスタ'08 第2日
「絵本制作展」(「コラボ」)
岡田淳さん講演会「物語と子どもたち」
(梅花女子大学児童文学会との共催 梅花女子大学澤山記念館講堂)
- ・ 6月8日(日)
梅花子どもの本フェスタ'08 第3日
「絵本制作展」「おはなし会」「絵本を作ろう!ワークショップ」(「コラボ」)
- ・ 6月11日(水)
「おはなし会」(水尾小学校 2年4クラス)
- ・ 6月17日(火)「おはなし会」(豊川小学校 3,4年 各1クラス)
- ・ 6月19日(木)「おはなし会」(茨木市子育てサークル「ふくろう広場」)
- ・ 6月24日(火)「おはなし会」(森の広場)
- ・ 7月8日(火)「おはなし会」(豊川小学校 5年2クラス, 6年1クラス)
- ・ 7月9日(水)「おはなし会」(水尾小学校 3年4クラス)



- ・ 7月19日(土)「おはなし会」(オープンキャンパス「学び体験」 梅花女子大学A棟1F和室)
「オープンキャンパス絵本制作展」(梅花女子大学A棟1F和室)
「絵本制作展 in SUMMER」
(茨木市生涯学習センター「きらめき」 8月28日(木)まで)
- ・ 7月26日(土)「オープンキャンパス絵本制作展」(梅花女子大学A棟1F和室)
梅花子どもの本フェスタ'08 第4日
長野ヒデ子さんワークショップ「紙芝居を作ろう」(梅花女子大学F棟7階会議室)
- ・ 8月1日(金)2日(土)8日(金)9日(土)23日(土)「オープンキャンパス絵本制作展」(梅花女子大学A棟1F和室)
- ・ 8月28日(木)「おはなし会」(森の広場)
- ・ 9月27日(土)「オープンキャンパス絵本制作展」(梅花女子大学A棟1F和室)
- ・ 10月9日(木)「おはなし会」(「ふくろう広場」)
- ・ 10月28日(火)「おはなし会」(「森の広場」)
- ・ 11月15日(土)「おはなし会」(梅花こどもフェスタ 梅花女子大学A棟1F和室)
- ・ 11月22日(土)23日(日)「小梅祭絵本制作展」(梅花女子大学F棟1Fロビー)
- ・ 12月6日(土)“絵本と音楽「14ひきのあさごはん」”(クリスマスコンサート 梅花女子大学澤山記念館チャペル)
- ・ 12月18日(木)「おはなし会」(「森の広場」)
- ・ 2月11日(火・祝日)「第9回 絵本制作展」(前半)(ギャラリー つちいろすみ 2月15日(日)まで)
- ・ 2月16日(月)「おはなし会」(子育てフェスティバル アルプラザ茨木)
- ・ 2月17日(水)「おはなし会」(「森の広場」)
- ・ 2月20日(金)「第9回 絵本制作展」(後半)(「コラボ」 2月22日(日)まで)

絵本制作展

絵本制作展には、スタッフとして、作品を展示してもらう学生として、展示物を見る側として、三年間さまざまな立場から参加してきました。初めはスタッフとして参加し、絵本とそれを手にとって下さる来場者を見ては緊張して、たくさんの反応がもらえる作品をつくろう！と刺激になりました。展示物を見る側の時は、とにかく多くの作品に触れて癒されたり、感動したり、創作意欲を刺激されたりしています。今年の絵本制作展でも、同じテーマに沿って個性的な作品がいくつもあり、ひとつの「りんご」でこれだけの味があるのだと驚かされました。本当に発見の多い作品展で、同じ学生としても凄く楽しみにしています。最後に作品を展示してもらう学生として、絵本制作展という公開の

場を作ってください、とてもありがたく思っています。私としては、創作するにあたって一番のエネルギーとなるのは、作品を見てもらえる喜びだと感じています。展示に関わるスタッフ、来場者の方々、全ての人に感謝し、また次の絵本制作展へ向けて頑張っていきたいです。

(3年 和田輝子)



梅花おはなし会

私は、この大学に入ってから児童文学科の中に「梅花おはなし便」という絵本の読み語りをするボランティア活動があることを知りました。とても興味を惹かれてスタッフに加わり、子育てサークルの「ふくろう広場」や「森の広場」などでの「おはなし会」に参加しました。毎回年齢層に応じた選書をし、小さな子どもたちに親しんでもらえるよう、絵本だけでなく手遊びやペープサートなども取り入れたプログラムを組みました。初めての体験なので、感情を込めて絵本を読むことが出来なかったり、緊張の所為で声小さかったり速くなってしまったりと苦労しましたが、熱心に私の読む絵本を見つけてくれる子や、楽しそうな笑顔を見せてくれる子がいると、また次も頑張ろうという元気をもらえました。今後も経験を積み、さらに子どもたちに絵本を楽しんでもらえるようなおはなし

便にしていけるよう、練習を重ねていきたいと思えます。

(1年 森田奈緒)

☆梅花ブログでは、TOMさんが「梅花おはなし便」の活動を報告しています。そちらもぜひご覧下さい。

<http://www.baika.ac.jp/juken/blog/tomoyo0110/>



岡田淳さん講演会



6月7日、児童文学会と児童文学・絵本センター共催の講演会が行われ、私は児童文学会の役員として参加しました。今回の講師は、岡田淳さんです。私は初めての講演会の参加で、会場の設営などの準備や当日の動きなどわからないことも多くありましたが、先輩方の指示を聞きながら、講演会の録画・録音と言う自分の役割は果たせたと思っています。講演会には学内だけでなく一般の方々も大勢来場してくださり、岡田さんの話に対して時折笑い声が聞こえるなど和やかな雰囲気でした。

講演会後の作品販売・サイン会もとても賑わい、帰宅時の皆さんの笑顔から素晴らしい講演会になったことを感じました。次回の講演会では私も上級生となり後輩を指導する立場になります。今回の準備や会場設営での反省を次に活かしながら、今後もこのような素晴らしい講演会を梅花で続けていく為に役員力を合わせ取り組んでいきたいと思っています。

(1年 梅川理紗)



長野ヒデ子さんワークショップ



7月26日、長野ヒデ子さんのワークショップに参加させていただきました。まずは講師である長野ヒデ子さんがご自分の絵本を紹介してくださいませ。今回のテーマである紙芝居も読んでくださいました。主人公の猫と一緒に体を動かすという参加型の紙芝居で、会場に集まっていた皆の緊張が解けていくのを感じました。次に自分でも紙芝居を作ろうという事になり、私は困ってしまいました。たった四枚で起承転結を完結させるのはとても難しい。終了ぎりぎりになんとか描き上げました。さて、いよいよ発表です。紙芝居はどれも個性があり、素敵でした。私も発表したのですが、思っていた以上に笑っていただけるととても嬉しかったです。

いつも作っている、一人の人間に手にとって読んでもらう絵本とは違い、少なくともその場に読み手と聞き手の二人が必要である紙芝居は、少し恥ずかしいながらも実際に目の前で誰かの「生の声」が聞ける面白いものだなあと感じました。

(4年 本嶋沙織)

梅花こどもフェスタ



11月5日、梅花女子大学130周年記念イベントとして、「梅花こどもフェスタ—ワクワク いきいき 親子で遊ぼう!—」が開催され、200名を超える来場者がありました。

午前中はNPO「地球おはなし村」の皆さんによるステージ「聴いてたいて 親子で楽しもう アフリカの太鼓と昔話」が澤山記念館・講堂で、午後は「親子でクッキーを作ろう」「子どもパソコン教室」「親子で遊ぼう こころの世界」「遊びのワークショップ」等々、さまざまなイベントが各教室にわかれて行われました。お昼には芝生広場で、たこ焼きや綿菓子、ポン菓子が作られ、おみやげの風船を手にした親子連れの列ができました。

当センターからも、「絵本制作展」と「おはなし便・絵本読み語り」が参加、手作り紙芝居も登場しました。また、「おはなし便」スタッフから1年生7人がフェスタ・スタッフとして参加、バスから降りてくる親子を会場に誘導したり、ポン菓子作りをお手伝いしたりと活躍しました。



絵本と音楽「14ひきのあさごはん」

2008年度よりスタートした幼稚園教諭免許課程に登録している1年生の希望者を対象に、ピアノ補習を実施しています。このうちの9名が12月6日(土)に開催された宗教部主催クリスマスコンサートに出演しました。演目は“絵本と音楽「14ひきのあさごはん」”。いわむらかずおの同名絵本にもとづいて寺島尚彦が作曲したピアノ連弾の組曲を9名で分担して演奏、朗読も分担して行いました。本格的に練習を始めたのは後期に入ってからでしたが、本番を意識して、初心者者の学生をはじめ全員が一生懸命がんばりました。コンサート直前にはねずみの耳のカチューシャをつけることが決まり、前日に手作りで用意しました。

いよいよ当日、香曾我部先生のご協力により、澤山記念館チャペルのスクリーンに絵本の絵を大きく写して、朗読とピアノ連弾、そして途中には9名全員でのミュージックベルの演奏も。途中緊張の場面もありましたが、みんなの気持ちが一つになったと実感できた30分間が無事に終わり、参加した学生からは「仲間と先生とで仲良くコンサートを成功させることができよかった」「終わってしまったて少し寂しい」などの感想が聞かれました。

(福井善子)



特別企画！ 香曾我部秀幸・選 2008年刊行絵本 ベスト15

◎国内絵本◎

うさぎ座の夜	安房直子／作	味戸ケイコ／絵	偕成社	2008
うまれてきたんだよ	内田麟太郎／文	味戸ケイコ／絵	解放出版社	2008
おふろや	黒田 愛／作		白泉社	2008
きもち	谷川俊太郎／文	長 新太／絵	福音館書店	2008(1978)
くまとやまねこ	湯本香樹実／文	酒井駒子／絵	河出書房新社	2008
ごくらくちょうちょ	山下明生／文	はらだひでたけ／絵	B L出版	2008
せんねんまんねん	まどみちお／詩	柚木沙弥郎／絵	理論社	2008
そらのおっばい	スズキコージ／作	大畑いくの／絵	農山漁村文化協会	2008
つみきのいえ	平田研也／文	加藤久仁生／絵	白泉社	2008
どうするどうするあなのなか	きむらゆういち／文	高畠 純／絵	福音館書店	2008
にいさん	いせひでこ／作		偕成社	2008
ねこのゴンサ	石倉欣二／作・絵		ポプラ社	2008
ブラッキンダー	スズキコージ／作・絵		イースト・プレス	2008
ボージャーくん	遠藤賢司／作	荒井良二／絵	白泉社	2008
ぼくのかえりみち	ひがしちから／作		B L出版	2008

◎海外翻訳絵本◎

あたらしいともだち	トミー・ウンゲラー／作	若松宣子／訳	あすなろ書房	2008
うんてんしてるの、だあれ？	ミシェル・ゲ／作・絵	末松氷海子／訳	徳間書店	2008
ええやん そのままで	トッド・パール／作	つだゆうこ／訳	エルくらぶ	2008
おひさまはどこ？	フィリス・ルート／作	メアリー・グランプレ／絵	岩崎たまゑ／訳 岩崎書店	2008
これがほんとの大きさ！	スティーブ・ジェンキンズ／作	佐藤見果夢／訳	評論社	2008
しずかに！ここはどうぶつのとしょかんです	ドン・フリーマン／作	なかがわちひろ／訳	B L出版	2008
白い牛をおいかけて	トレイス・シーモア／文	ウェンディ・アンダスン・ハルパリン／絵	三原泉／訳 ゴブリン書房	2008
太陽のしずく	エリック・バトゥー／作	那須田淳／訳	講談社	2008
ちいさなあなたへ	アリスン・マギー／文	ピーター・レイノルズ／絵	なかがわちひろ／訳 主婦の友社	2008
ながいながい旅	エストニアからのがれた少女			
イロン・ヴィークランド／絵	ローセ・ラーゲル克蘭ツ／文	石井登志子／訳	岩波書店	2008
なぜ戦争はよくないか？				
	アリス・ウォーカー／文	ステファーン・ヴィタール／絵	長田弘／訳	偕成社 2008
にげろ！にげろ？	インドのむかしばなし			
	ジャン・ソーンヒル／再話・絵	青山南／訳	光村教育図書	2008
めでたしめでたしからはじまる絵本	デイヴィッド・ラロシェル／文			
	リチャード・エギエルスキー／絵	椎名かおる／訳	あすなろ書房	2008
門ばんネズミのノーマン	ドン・フリーマン／作	やましたはるお／訳	B L出版	2008
ゆきのまちかどに	ケイト・ディカミロ／作	バグラム・イバトーリーン／絵		
		もりやまみやこ／訳	ポプラ社	2008

＜児童文学・絵本センターの基本理念＞

- 学生や卒業生、そして一般市民の方々が児童文学や絵本の研究・創作・伝達について主体的・継続的に学んでいくことをサポートする。[学習支援]
- 学生や卒業生が、児童文学や絵本を通して地元・近隣地域の子どもや一般市民の方々と交流する場を設けることにより、「心の架け橋」としての児童文学の今日的意義と重要性を地域社会にアピールする。[交流]
- 地域住民との交流を児童文学や絵本の伝達に関する実践研究に生かす。[実践研究]
- 児童文学・絵本に関する情報交換・発信のステーションとなる。[情報ネットワーク]

＜梅花子どもの本フェスタ'09のお知らせ＞

来年度の「梅花子どもの本フェスタ」は、まず、5月30日（土）に梅花女子大学澤山記念館講堂にて児童文学会との共催による講演会を。次に、9月25日（金）、26日（土）、27日（日）の3日間、豊中市千里文化センター「コラボ」にて「絵本制作展」を中心にした催しを行う予定です（「コラボ」に関しては日程変更の可能性あり）。

講演会のゲストは、「ワニくんシリーズ」で有名な絵本作家のみやざきひろかず氏。ご期待下さい。



編集後記

鵜野祐介先生から事務局を引き継ぎましたが、なかなか思うように動けていません。諸方面にご迷惑をお掛けしているのではないかと、ひやひやしています。

当センターが基本理念の中でうたっている、「心の架け橋」としての児童文学や絵本の今日的意義と重要性は、年々、日本の社会において認められてきているように思いますが、それが直ちに、児童文学科の学生数増に繋がるわけではありません。当センターも、大学という組織の中にある以上、少子化の中での大学の生き残り合戦という現実と無関係ではられません。正直、しばしば疲弊します。それでも、「絵本制作展」や「おはなし会」の準備等をいきいきと行っている学生たちと行動をともにしていると、こちらも元気になってきます。学生スタッフの皆さん、ありがとう。

本号では、特別企画として、「香曾我部秀幸選・2008年度絵本ベスト15」を掲載しました。選書の参考にしていただければと思います。（田中裕之）